

# 北杜

2010  
Vol. 24

## 議会だより



ヤッター!!とれたよ!

(写真提供: なかじま写真 中嶋 一)

### 9月定例会



議案と審議	.....	P2 ~ 3
委員会レポート	.....	P4 ~ 5
市長の所信表明・組合議会報告	.....	P6
会派代表質問(5会派)	.....	P7 ~ 15
一般質問に8人	.....	P16 ~ 18
【声のひろば】4人	.....	P19
北杜市ウォッチング	.....	P20

9月定例会は、9月7日から28日まで22日間の会期で開催し、市長提出の平成21年度一般会計・特別会計決算（23件）の認定をはじめ、22年度の補正予算7件、条例の制定・改正5件、報告4件、諮問1件、選挙1件、その他5件の計46件を審議し、原案のとおり認定、可決、承認、選任しました。

# 崩しを回避

## 平成21年度一般会計決算

### 歳入（財源）

科目	金額	構成比(%)
市税	69億 58	22.0
地方譲与税	3億2846	1.0
地方消費税交付金	4億5043	1.4
地方交付税	122億4209	39.0
分担金・負担金	4億 349	1.3
使用料・手数料	5億3148	1.7
国庫支出金	36億9014	11.8
県支出金	16億5195	5.3
繰入金	9886	0.3
繰越金	10億1522	3.2
市債（借入金）	33億4690	10.7
その他	7億3412	2.3
歳入合計	313億9372	100.0

### 歳出（使いみち）

（単位：万円）

科目	金額	構成比(%)
議会費	1億5754	0.5
総務費	38億 513	12.6
民生費	48億6319	16.1
衛生費	29億9560	9.9
労働費	1238	0.1
農林水産業費	26億 879	8.6
商工費	5億8010	1.9
土木費	39億5277	13.1
消防費	8億9166	2.9
教育費	30億8426	10.2
災害復旧費	645	0.0
公債費（借入金返済）	57億7245	19.1
諸支出金	15億2325	5.0
歳出合計	302億5357	100.0

### 条例制定

過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例  
過疎地域自立促進法の期限延長により新たな制定するもの。

### 諮問

人権擁護委員の候補者の推薦  
内田 安雄（長坂町）  
氏原 宏幸（白州町）  
原 哲也（白州町）

### その他

過疎地域自立促進計画の策定  
平成22年4月～28年3月までの計画を定めるもの。

### 選挙

奥野山恩賜県有財産保護組合  
議会議員  
仲澤 功允（明野町）  
細川 勝夫（明野町）  
向井 忠男（明野町）  
篠原 隆美（明野町）  
清水 幸雄（明野町）  
入野野一郎（明野町）

農山漁村活性化プロジェクト  
支援交付金事業計画  
五町田地区土地改良  
上下条地区土地改良  
根造地区土地改良  
以上3件は賛成19、反対2で可決  
箕輪新町地区土地改良  
全員賛成で可決

### 動議

提出者 渡邊 陽一

北杜市は合併して6年を経過し、議会改革について早急に検討し、議論を深めて実施していくことが重要であります。よって、ここに全議員を委員とする「議会改革特別委員会」を、今定例会において設置することを採択するよう求めます。質疑の後、審議未了。

21年度  
決算

# 財政調整基金の取り

22年度予算 4億216万円を増額補正し

## 一般会計総額291億558万円に

### ▶ おもな財源

市債（借入金）	1億5970万円
地方交付税	1億3190万円
県支出金	6664万円
国庫支出金	3081万円
分担金・負担金	861万円



### ▶ おもな使いみち

道路整備	7920万円	市道52号線、市道富岡南新居線外1路線
長坂統合小学校建設事業	3012万円	基本設計、仮設校舎実施設計、地質調査、敷地測量
県単土地改良事業	1650万円	農業用水路工事
新型インフルエンザワクチン接種費助成	1538万円	低所得者世帯に属する接種希望者への助成
産業立地事業助成金	1363万円	市内に立地・操業した製造業者等へ助成金を交付
住宅用火災警報器給付	1244万円	満65歳以上の高齢者のみの世帯へ火災警報器を給付
市ホームページシステム更新	1024万円	内容を見直し、利用しやすいホームページを提供
八ヶ岳観光圏整備事業	968万円	観光客の来訪や滞在促進のための事業実施主体へ負担金を交付
小淵沢駅舎・駅前広場整備事業	714万円	基本構想策定



おいしい秋みつけた

### 特別会計補正

国民健康保険	2036万円
老人保健	106万円
後期高齢者医療	421万円
介護保険	6360万円
下水道	2033万円

# 決算特別委員会を設置

平成21年度の決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、委員長に坂本静議員、副委員長に風間利子議員を選任しました。

## 監査委員の決算審査意見

代表監査委員 入江 薫  
 監査委員 秋山 元紀  
 監査委員 秋山 九一

平成21年度会計を監査した結果、適切に収入支出がされており、正確なものと認める旨の意見書が提出されました。

# 決算特別委員会

付託された平成21年度一般会計決算および特別会計の23件を審査し、原案のとおり認定した。おもな質疑答弁は次のとおり。

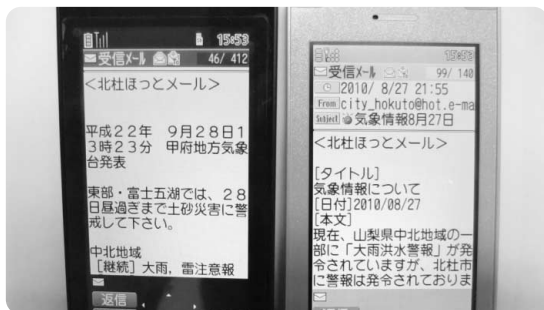
## 一般会計

問 地域総合整備資金貸付金の融資対象となる事業はどのようなものか。  
 答 現在の貸付件数は、ふるさと財団の融資制度により民間福祉施設などへ融資するもので、現在、介護老人保健施設「フルリールむかわ」1件にのみ貸し付けている。

問 市場化テストの現段階での状況は。  
 答 庁内プロジェクトチームも作り調査研究してきたが、導入自治体は全国で2カ所、課題も多く、当面、本市では見送る。

問 昨年と比べ、有害鳥獣捕獲数が減った理由は。  
 答 県の計画により、管理捕獲を主に実施しているため。

## 防災防犯メール



問 性質別歳出物件費にかかわる人件費は。  
 答 嘱託・臨時職員の賃金で6億5893万6218円、3月支給人員は379人。

問 防災防犯メールの加入者数は。配信内容は気象発表のものだけか。  
 答 加入者数808人。地域課からの配信も行っている。配信が地域限定できないため、火災時の配信は現状考えていない。

問 住宅用太陽光発電システム設置補助の基準は。  
 答 1kw当たり2万5000円、最高限度額は20万円、市内に住所を有する税金完納者が対象。

問 お産の場検討委員会の趣旨と開催状況は。  
 答 お産の場を確保するための検討を行うことが趣旨。昨年度1回開催、今年度は4回の開催を予定。

問 子ども医療費助成事業の現状は。  
 答 昨年度から医療費助成対象が小学校3年生まで拡大された。確定ではないが、3300万円くらい市の負担が増える。

問 社協人件費補助は何人分か。百歳祝金、敬老祝金の支給人数は。  
 答 社協専門員19人の人件費の80%を補助するもの。百歳祝金は11人、敬老祝金は77歳が589人、88歳が277人、100歳以上が28人。

問 花パークフィオーレ小淵沢の直営後の入場者数は。  
 答 20年の直営直下で5万1396人、21年度が6万人。

問 悪質な滞納者には退去も辞さない対応をしている。滞納分は必ず徴収する方向で進めていく。  
 答 スクールバス運行にかかわる安全対策は、道路管理者と協議し、さらなる安全対策を講じていく。

問 農業教育研修助成の事業内容は。  
 答 北杜市担い手農業者育成条例に基づき、新規就農者を受け入れる市内の農家に助成するもので、6人の育成を行った。

問 県地方税滞納整理推進機構による実績は。  
 答 91人、約2億4700万円の滞納事業を機構と共同で対処し、59人、8400万円を解決。

問 学校給食に携わる方の腸内細菌検査の内容は。  
 答 自校方式も含め10施設、延べ90人の調理員・パート・職員・栄養士が2週間に1度実施。



花パークフィオーレ

賛成16、反対5で認定



### 特別会計

国民健康保険特別会計

問 国民健康保険税の滞納世帯数は。

答 現年度分のみで、加入世帯数9367世帯の15・37%、1440世帯。

介護保険特別会計

問 介護保険料普通徴収の滞納理由は。

答 年金額が少ない、年金担保になつている場合等。

簡易水道事業特別会計

問 大泉・武川の他会計繰入金額が多い理由は。

答 下水道工事に伴う工事費分を繰り入れるもので、両地区で下水道工事が多くなつているため。

下水道事業特別会計

問 一般会計繰入金のうち、基準内・基準外繰入の額はどれくらいか。  
答 基準内が9億2419万2000円、基準外が5億303万5000円。

病院事業特別会計

問 福寿の里の通所リハビリの利用者数が、前年度に比べ、減少した理由は。

答 一時期に、ノロウイルス感染により、入所・通所を控えたため。

老人保健特別会計

後期高齢者医療特別会計  
居宅介護支援事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

甲陵中・高等学校特別会計

辺見診療所特別会計

白州診療所特別会計  
土地開発事業特別会計  
明野財産区特別会計  
須玉財産区特別会計  
高根財産区特別会計  
長坂財産区特別会計  
大泉財産区特別会計  
小淵沢財産区特別会計  
白州財産区特別会計  
武川財産区特別会計  
浅尾原財産区特別会計

以上22件は全員賛成で認定



しおかわ福寿の里



## 文教厚生常任委員会

### 調査

付託された条例改正4件を審査し、原案のとおり可決した。  
おもな質疑答弁は次のとおり。

国民健康保険条例の一部改正

体育施設条例等の一部改正

問 照明料の新料金設定の根拠は。

答 基本料等は考慮せず、実際に1時間点灯した場合の金額を業者に算出させた。

郷土資料館条例及び埋蔵文化財センター条例の一部改正

問 明野・大泉の収蔵品はどうなるのか。

答 大泉の2階へ展示替えなどを行つていく。

以上4件は全員賛成で可決

8月5日に所管事務の調査を行い、それぞれ担当者から説明を受けました。

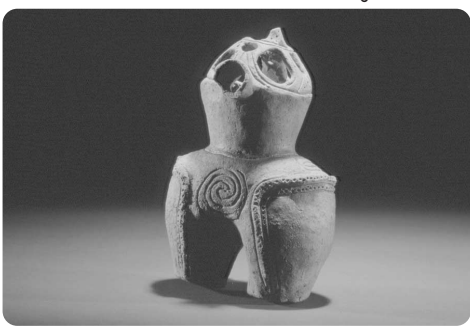
(調査事項)

- ・愛育会の現状
- ・園児送迎バス関係
- ・社会福祉協議会の運営と実態
- ・図書館利用状況と実態

大泉屋内スポーツ施設条例等の一部改正

問 施設管理を、指定管理者に行わせることができるとした必要性は。

答 市長または指定管理者どちらでも管理できることを、明確に条文化しておくため。



金生遺跡の土偶



梅之木遺跡の土器

# 市長の所信表明

## 市民が安心できる 市政運営を行います



### 市政の状況

去る7月23日に普通交付税の額が決定され、前年対比で若干増額し、113億6600万円余となりました。

今後も、国の動向を注視すると共に、引き続き行財政改革を進め、財政の健全化に取り組みます。

#### 1 総合防災訓練

職員非常参集、災害対策本部設置、姉妹都市や自衛隊の救援訓練等、実践的な訓練を行いました。

#### 2 火災警報器の給付

65歳以上の高齢者構成世帯に、住宅用火災警報器1台の給付を行うこととしました。

#### 3 100歳以上の高齢者の安否確認

104歳の方を最高齢者に100歳以上の高齢者が33人おり、全員の方の所在が確認できました。

また、戸籍上生存したまま所在不明の戸籍が266人を数え、生存の可能性がないと思われる戸籍は、職権で消除する許可を法務局に申請する予定です。

#### 4 過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進計画を策定します。また、デマンドバス実証運行が、新たに創設された過疎地域の課題に対する提案型事業として、県内で唯一採択されました。

#### 5 子育て支援

10月から、ファミリーサポートセンターの開設と、小学生交通サポート事業のモデル実施を行っていきます。

#### 6 大規模太陽光実証研究施設

23年3月で実証研究期間が終了するため、庁内検討会を設置し、新エネルギー・産業技術総合開発機構に、無償譲渡を要望していきます。

#### 7 小水力発電計画補助事業採択

村山六ヶ村堰の3地点について、新エネルギー導入促進協議会の地域新エネルギー等導入促進事業に応募し、小水力発電では、全国で初めての社会システム枠で全件採択となりました。

#### 8 風林火山館

映画「のぼうの城」の撮影と黒澤監督生誕祭イベントを最後に施設を解体し、元の牧草地に戻す計画です。60万人を超える観光客を迎え入れ、地域の観光振興に大きな役割を果たしました。

#### 9 小淵沢駅舎改築

JR側と協議を重ねるとともに、関係部局職員で構成する庁内検討会で調査研究を進めています。今後、市民の皆さんの意見を聴かせていただくための協議会を設け、より合理的な基本構想策定に努めます。

### 峡北広域行政事務組合 議会報告

7月12日に第1回臨時会が開催されました。副議長選挙の後、報告3件、条例1件、契約1件、人事1件について審議し、原案のとおり承認・可決されました。

#### 選挙

副議長 三浦進吾（甲斐市）

#### 人事

監査委員 山本英俊（甲斐市）

### 峡北地域広域水道企業団 議会報告

9月3日に第2回定例会が開催されました。報告1件、条例2件、認定1件について審議し、原案のとおり可決・認定されました。

#### 研修

8月6日に議員研修が行われ、水道用水の供給を受けている峡北地域広域水道企業団の所有する施設の運転方法、浄水場での水処理方法等について理解を深めました。

#### 研修場所

- 塩川系： 奥宮塩川第2発電所、塩川浄水場、塩川取水場
- 大門系： 大門浄水場、六ヶ村堰水力発電所

市民フォーラム

21年度決算は

**問** 21年度の市の一般会計決算・特別会計決算で示された市政全般について伺う。

財政運営に関する市の総括的見解は。

財政健全化計画の達成度は。アクションプランの進捗状況と成果は。

指定管理者制度の運用は、市民ニーズにあっているか。財政面で効果は。

白州町総合運動場テニスコートの用途変更の経緯は。

上下水道・病院事業の経営改善状況、簡易水道事業の水利権者に

対する支払い状況、地域との契約概要は。料金統一に対する市の考えは。

**答** 着実に財政健全化を進める

**市長** 公債費歳出削減のため、繰上げ償還を積極的に進め、市債残高を913億円とした。厳しい財政状況だが、着実に財政健全化にまい進していると考える。

指定管理者制度導入時の収支と比較し、3億円の経費削減。

**企画部長** 人件費削減・繰り出し金抑制は、計画に基づく取り組

みを着実に達成し進めてきた。

5年間の取り組み状況をまとめ、

最終確認を行う。達成率70%、未達成は第2次アクションプランに反映。

**教育長** 指定管理者から用途変更望書を受け、クレーテニスコートを整備し、有効利用できるよう承認した。

**生活環境部長** 水道事業は経費削減に努め、経営改善を進めたい。下水道事業は独立採算が原則だが、繰入金に依存の状況だ。適正料金設定など、改善策を講じたい。

**問** まち(地域)づくりの施策は

「まちづくり計画」では、行政区単位で市民委員会という組織を考えているが、既存の行政区との関係は。

「計画」に地域拠点の考え方が盛り込まれている。支所の位置づけは。

支所に図書館・公民館機能を集約することが、維持費や管理人件費などの節約や、効率的な地域づくりに寄与するが。

小中学校の統廃合で通学区域をどう設定するのか。

自治基本条例の視点を考慮した取り組みの検討は。

地域づくりのために生涯学習が



ガンバレ、北杜の中学生

重要だが、市は自己点検・評価でこの点をどう評価したのか。明野給食センター・埋蔵文化財センターの統廃合・管理方法変更の経緯は。

**答** 自治基本条例、先進事例参考に検討

**建設部長** 「地区まちづくり市民委員会」は、それぞれの地区まちづくり計画の策定が可能で、現行政区でも取り組みやすい組織だ。総合支所等、個別施設は地域拠点に位置づけていない。

施設の集約は有効な手法。新アクションプランで検討。

篠原 眞清



安全管理委員会が開かれる最終処分場

**総務部長** 他自治体の制定状況等を調査・参考に検討。  
**教育長** 統廃合に際しても、既存の小学校区を分割しての中学校区の設定は考えていない。

人材登録制度の活用や分館活動の充実に努めるが、今年度の行政組織改革事業は、自己点検・評価の対象にない。

給食センターは、北杜南学校給食センターとの統合を計画より早めたい。埋蔵文化財センターは、谷戸城ふるさと歴史館に集約し、教育委員会が直接管理運営する。

**問** 安全管理委員会の在り方は

県環境整備センター安全管理委員会は、その機能を十分果たしているか。

アスベスト埋め立て処理は危険だ。市の見解は。

地下水観測井戸での汚染結果が出ている。見解は。

安全管理委員会開催の在り方や、地元委員の増員は。

**答** 中立的立場から公平・客観的に判断

**市長** 廃棄物搬入管理、環境モニタリング検証、現地視察の実施など11回開催。機能は十分果たされている。

**生活環境部長** 湿潤化や破砕など行い、適切な方法で周辺環境に支障が生じない配慮がされている。

観測井戸は環境基準をクリアーしており、地下水汚染を示す結果も認められず、水質的に安心なレベルにある。

専門委員の増員は、安全管理委員会です3つの選考基準に基づき選考することが決められている。

議会のひびき

7月

- 12日(月) 峡北広域行政事務組合議会本会議
- 13日(火) 広報編集委員会
- 16日(金) 広報編集委員会
- 21日(水) 広報編集委員会
- 23日(金) 広報編集委員会

8月

- 5日(木) 文教厚生常任委員会、正副議長・正副議会運営委員長会議
- 6日(金) 峡北地域広域水道企業団議会議員研修
- 11日(水) 県市議会議長会議員合同研修会
- 12日(木) 議会運営委員会
- 24日(火) 峡北地域広域水道企業団議会全員協議会
- 25日(水) 議会運営委員会、全員協議会

9月

- 2日(木) 議会運営委員会、全員協議会
- 3日(金) 峡北地域広域水道企業団議会本会議
- 7日(火)~28日(火) 第3回定例会
- 7日(火) 広報編集委員会
- 8日(水) 広報編集委員会

9月定例会日程

- 9月7日(火) 本会議 市長所信表明 議案説明、議案審議
- 9月8日(水) 決算特別委員会
- 9月9日(木) 決算特別委員会
- 9月10日(金) 議会運営委員会
- 9月13日(月) 決算特別委員会
- 9月15日(水) 議会運営委員会
- 9月16日(木) 決算特別委員会
- 9月17日(金) 文教厚生常任委員会
- 9月21日(火) 議会運営委員会
- 9月22日(水) 全員協議会
- 9月24日(金) 決算特別委員会
- 9月25日(土) 本会議 代表質問
- 9月27日(月) 決算特別委員会
- 9月28日(火) 本会議 議案審議 議会運営委員会



公明党

# 市の子どもたちを 育てる取り組みは

**問** 明日を担う青少年育成の基本的な考え方は。

成績だけを比べる画一的で内向きな教育では、日本の未来はない。青少年の海外体験、留学の現状と今後の支援策は。

公明党は、小学生による農山漁村での1週間以上の自然体験を提唱している。自然学習の拡充を。

**答** 生きる力の  
確立を目指す

**教育長** 確かな学力、豊かな心、すこやかな心身の育成が生きる力の確立であるとの理念で取り組む。

中学生の海外交流事業として、カナダアルバータ州の学校への派遣、アメリカケンタッキー州や韓国抱川市でのホームステイを行っている。甲陵高校2年生1人が、来年7月まで1年間ニュージーランドに留学中。今後、交流を拡大し、さらに深まるよう検討していく。

小学生のほくとっ子がんばりキャンプ、中学生のジュニアリーダー研修、宿泊自然教室、稲作、野菜栽培体験等を実施している。さらに充実、推進したい。

**問** 新しい福祉への  
取り組みは

北杜市の「うつ病」者数、「ひきこもり」の実態は。

大阪の2幼児放置死事件の際住民と児童相談所や行政の在り方が問われた。子どもの安全確保最優先の取り組みが実現しているのか。高齢者所在確認業務の実状と所在不明への対応は。

**答** 家庭児童相談室を設置

**市長** 児童相談所と連携し、家庭訪問を積極的に実施、保育所・学校と情報交換し、児童虐待の未然防止に努める。

**福祉部長** 有病者数は、保健福祉手帳、精神通院医療受給者証で把握しているが、実態はつかみにくい。

104歳を最高齢に、100歳以上が33人。8月に自宅や施設を訪問し、全員の所在を確認した。民生委員児童委員協議会で、高齢者の情報提供等の対策、活動推進の確認を行った。9月に敬老祝金を届ける際にも確認した。

**問** 社会基盤の  
老朽化への備えは

道路・橋梁・水道施設等、社会基盤の老朽化の現状は。

公共施設の維持、更新などの対策は。

固定資産台帳を整備し、公共施設白書を作成して老朽化対策に生かすべきだが。

**答** 既存施設の  
長寿化を考慮

**市長** 新設から維持管理へと国の助成方針も転換した。施設長寿化を目指し、市としての計画策定に努める。

**企画部長** 市道は1063km、

農道は591km。橋梁は大半が修繕が必要。下水道は管渠539km、処理場13施設、農業集落排水は223km、25処理施設。オーバールール等を行い、良好な稼働に努めている。市営住宅は49団地、1428戸。505戸は建築基準法改正前の建築で耐震性がない。資産台帳は所管課で整備している。上水道と道路は整備計画を、橋梁・公営住宅・下水道は長寿化計画を策定し対応していく。



小尾 直知



長寿化が望まれる

日本共産党

## 国保の広域化に 対する市の見解は



清水 進

**問** 国保の広域化は、医療給付費が増えれば、保険料もそれに応じてさらに上がる仕組みだ。住民無視の組織運営になる。今後、県の広域化等支援方針の策定と、市町村の対応が焦点となるが、市町村広域化等連携会議の議論と、市町村からの意見聴取で知事が決定する。県との協議状況、今後のスケジュール、支援方針の内容と「広域化」に対する市の見解を伺う。

**答** 国の動向を注視する

**市長** 国保広域化に向け、9月10日に県・市町村による作業部会が設けられ、広域化等支援方針の策定に向けた検討が始まった。国が進めている国保の広域化について

は、今後の国の動向を注視しながら対応していきたい。

**問** 地域水道ビジョンに  
市民の意見は

水道ビジョンに対し、以下の疑問について見解を伺う。  
旧町村の簡易水道の歴史、水利権の問題は。

企業団受水地域と武川・白州地域が分かれていないが。

旧町・事業単位にとられない配水管網の見直しは。

赤字の問題、繰り出し金の問題に触れないのは。

企業団からの責任買い取り制の見直しの考えは。

全国の水道水源水で、常時活性炭を利用する水道事業者の数は。

水源を自然にある地下水に求めないのはなぜか。  
地震発生時、地域単位で生活水の確保ができるか。

**答** ビジョン素案を  
委員会に提示

**市長** 地域水道ビジョンは、現在、素案を簡易水道運営委員会に示し、委員の見解を伺っている。

水道事業は各地域で、先人の大変な苦労で現在の事業が成り立っている。これを踏まえ現状を分析し、将来像と目標を立てたい。

**生活環境部長** 市内1つの事業で経営する計画で認可を受けており、水道ビジョンの中で区別していない。

一部水量不足地域があり見直しを検討。各町をつなぐ連絡管は、経費・水利権問題もあり考えていない。

財政計画は重要で、経営状況を見極め見直しする。

企業団からの受水量は63・2%、負担軽減を期待する。

日本水道協会では、常時活性炭を利用する施設調査はしていない。

地下水のみでは安定供給ができず、湧水等を有効活用。

貯留水確保施設は21カ所、全地域で対応できる。

**問** 武川町に防災  
センターの建設を

武川総合支所は建設後49年が経過し、老朽化・雨漏り等の理由で保健センターに移転する。非常時に、防災センター利用ができる施設が望まれているが、災害時の活用や、平時の会議室等の利用ができる施設建設について、市の見解を伺う。

**答** 保健センターに対策  
本部機能を持たせる

**市長** 本年3月に策定した3カ年実施計画では、地域防災対策のソフト面の強化とともに、防災施設の整備、防災行政無線デジタル化整備工事などの災害前対策の充実を図ることになっている。武川総合支所移転先の武川保健センターには、防災行政無線も整備し、災害時の現地対策本部機能を持たせる。



人気の道の駅 無料の水

北杜クラブ



千野 秀一

財政の健全化は

**問** 27年度以降、交付税が段階的に縮減され、32年度には22年度に比べ約35億円の減額となる。市としての備え、対策は。

21年度末の市債残高は約91.3億円。笛吹市や南アルプス市など、他の合併市に比べ高水準だ。今後の削減に向けた方針は。

合併からの5年間を評価した行政白書を作成し、市民に周知しては。

**答** 繰上償還など  
最大限努力する

**市長** 昨年6月、財政健全化計画を策定し、人件費・繰越金の抑制、歳出の徹底した削減・廃止を示した。合併後に基金67億円を積み増し、税収確保、市債残高削減に努めてきたが、今後もあらゆる努力をはらっていく。

**企画部長** 市債発行を各年度の元金償還額の範囲内と定め、繰上償還も実施してきた。21年度末には、17年度末に比べ96億円の借金を減らした。今後も繰上償還に努めていく。

広報紙、ホームページ、市政報告会等、多様な手段で市の財政状況を報告してきた。さらに充実した内容とし、白書の役割を果たしていきたい。

**問** 事業評価・事業仕分けは

昨年、平成20年度実施分の516事業の事務評価が行われ公表された。本年度も庁内機構改革と併せ新たな取り組みがなされているが、継続事業も含め、より一層の対策が必要だ。有識者や公募した市民による事業評価・事業仕分けを取り入れる考えはないか。

**答** 来年度には公開試行

**市長** 行政改革推進委員会で、市民による事業仕分け、公募等について審議をしている。来年度には、公開試行に取り組みたいと考えている。

**問** 鳥獣害対策は

農業地帯が多い本市では、近年、大型獣による被害が深刻だ。農作物被害は生産意欲の低下や、耕作放棄地の拡大が懸念される。

「鳥獣害に強い地域づくり支援事業」は見直すのか。  
猟友会員の高齢化による有害鳥獣捕獲者の減少が懸念される。市の対策は。

**答** 支援事業は見直す

**市長** 現状、支援事業の効果は不十分。来年度に向け、事業内容の見直しと新規メニューを検討している。

**産業観光部長** 助成措置を講じたり、地域ぐるみの対策活動を支援し、捕獲者の育成・確保に努めたい。



放棄水田と稲被害

**問** 災害時要援護者  
支援制度の対応は

制度説明の冊子および登録申請書の配布、区長への登録者一覧表の配布と説明が行われた。  
各町ごとの要援護者の登録数は、本制度に該当する推定人数は、登録が進まない理由は、登録の推進、啓蒙は、地域支援機関の連携と情報交換は。

**答** 登録推進  
制度啓発を図る

福祉部長 9月21日現在、明野町17人、須玉町35人、高根町28人、長坂町29人、大泉町16人、小淵沢町12人、白州町29人、武川町54人、計220人。

75歳以上の高齢者のみの世帯、寝たきり、認知症で要介護3以上、身体障害者手帳1級または2級の交付者で、約5000人が見込まれる。

個人情報提供への抵抗感や、他人に迷惑をかけたくないといった心情が、登録のネックになっているようだ。

7月から9月に、区長会や民生委員会等で登録者一覧表の活用マニュアルの説明を実施した。今後、広報紙、健康福祉大会等での啓発



日ごろの気配り

**問** 簡易水道は

行政区や社会福祉協議会等の協力を得ての推進を図っていく。  
災害発生時、行政区や自主防災組織を中心に要援護者の安否確認、避難誘導の支援が行われる。区長等を中心とした情報交換、支援機関の連携を要請したい。

簡易水道給水条例は、3月議会において5項目の附帯決議を付け、

7月の施行を半年間延期し、この間、周知徹底を図るとされた。附帯決議の履行状況と成果は、市水道ビジョンの市民への周知は。

小規模施設の効果的統廃合、水源94力所についての評価を明確に示せ。

**答** 水源3力所を廃止

市長 施行延期については、6月議会会で可決。周知徹底については、区長会での説明、お知らせの全戸配布等を実施。会計健全化については、前年度決算対比で2800万円を縮減。水系の違いによる2料金体系維持については、国と県に理解を求める。審議内容については、4月28日、明野総合会館での市政報告会で説明した。

生活環境部長 水道ビジョンは、素案を簡易水道運営委員会に示し現在策定中。完成次第、広報紙等で周知を図りたい。

本市は広域に水道施設が存在し、経営状況は厳しく統廃合は避けられない。水源94力所を当面は活用するが、整備事業によりそれぞれ小規模な湧水1力所、表流水1力所、浅井戸1力所を廃止する計画。今後とも検証し、さらに統廃合を行いたい。

**問** 太陽熱発電の進捗は

国と大学による太陽熱発電研究の候補地として、北杜市が話題となった。誘致の取り組みは。

**答** 早期実現に向け対応

市長 昨年3月、東京工業大学から太陽熱発電施設の開発をしたい旨の依頼を受け、同大の玉浦教授ら関係者と市内各地を調査した。先月には、開発適地のバックデータ確保のため、直達光計測器の設置依頼もあった。計画の早期実現に向け、市として対応したい。

**問** 法定外道路の格上げを

市内の主要道路には、早急に改善が必要な路線が多い。法定外道路の市道への格上げが望まれる。格上げの基準は。

合併後、地域要望が認可された件数は。

法定外道路の整備および道路欠陥による事故等の責任は。林道の整備および事故等の責任は。



**答** 認定の見直し作業中

**市長** 格上げの認定要件は、起点・終点とも国道・県道・市道に接続する路線であること、有効幅員4m以上が原則。特例として、交通事情等から市道に認定することもある。

**建設部長** 2路線を格上げした。市道認定の見直し作業を行い、本年度、議会承認を受けるための準備を進めている。

法定外道路の管理と維持は、受益者および自治会にお願いしているが、管理瑕疵の責任は市にある。本年度、主要路線について、道路賠償責任保険に加入した。



舗装が待たれる石堂地内

**産業観光部長** 市営林道68路線

14.9kmについて、毎年4月にパトロールを実施。修繕等は迅速に行っている。管理瑕疵が原因の事故は、道路賠償責任保険で対応している。

**問** 北杜24景のPRを

北杜24景のポスターは好評だ。北杜の宝とも言える風景が、県内外の多くの人を惹きつけている。より多くの人に新鮮な情報を伝達できるのが、ライブカメラによるインターネットでの動画配信だ。全国各地で、ライブカメラが急速に設置されているが、市としても導入すべきだが。

**答** ライブカメラ設置は経費的に困難

**市長** ライブカメラによる動画配信は、北杜市のすばらしい景観のPRのため、大変有意義な方法と考えるが、新設の場合は1km当たり750万円、東電の電柱に共架の場合でも150万円程度の費用がかかる。全体では億単位の経費が見込まれ、実現は困難。DVD映像をホームページで配信するなどして、北杜24景のPRに努めたい。

市民バスの活用は

**問** 本市は面積が広く、高齢化率

も30%に近いため、公共交通機関の重要性が高い。国土交通省の補助事業により、東京大学大学院と共同して運行しているデマンドバスは料金も安く、試行期間後の存続を希望する声が多い。

市民バスの現況、利用状況と推移は。

デマンドバス実証運行の現況、利用状況は。国の補助金終了後の方針は。利用者の要望はどのように反映しているか。

デマンドバスのエリア拡大は。障害のある人の移動手段の確保は。

**答** 高齢者、障害者の利用を考慮

**企画部長** 葦崎市と共同運行の

3路線を含め計15路線。デマンドバス実証に伴い、重複2路線は休止。20年度は16万1000人。21年度の利用者15万4000人で減少傾向にある。1便当たり4・1人。少ない路線は0・6人。

昨年10月に開始、7月にエリアを拡大、予約センターを設置し、7台の10人乗りワゴン車で運行。利用者登録2282人、乗降場所895カ所。7月は延べ695人。

明政クラブ



保坂多枝子



手すりもステップもついて  
乗りやすいね

8月951人で1日平均約40人が利用。増加傾向。利用客の66%が70歳以上で買い物や通院の利用が多い。市民バスとの役割分担等を検討し、デマンドへの移行も含め、継続可能な公共交通を考えたい。登録時や車内でのアンケート、地区要望を参考に市地域公共交通活性化協議会で検討。高齢者、障害者を考慮し、増富エリアは車イスの利用が可能。2車両は補助ステップや手すりがあり、利用しやすいシステムを構築していきたい。

**問** 市内企業勤務者への支援は

市内には誘致企業を含め、地元従業員を雇用している企業が多いが、市内の在住者は必ずしも多くない。居住率を高める施策を。市内企業勤務者の居住地の現況は。

市内に居住しない理由は、支援の現状は。社員寮への支援は。民間アパート建設への支援は。また、働く親と子どもを一体とした支援策として、企業が企業内に設置した保育施設への保育士派遣など、企業の子育てにやさしい環境づくりへの支援や施策が必要だが。保育園入園者の年齢別人数は。就労人口に占める女性の数と割合は。保育施設を設置する企業への支援策は。

**答** 優良企業表彰も検討

**市長** 保育士派遣は公平性の観点から難しいが、子育てと仕事の両立に積極的に取り組む企業には表彰制度や認定マークを付与することを考えたい。

**産業観光部長** 17年国勢調査で

安心して働いてね（院内託児）



いが、公営住宅の紹介や企業と業者との連携のうえで、アパート建築にむけた環境を整えたい。  
**福祉部長** 22年9月時点で、0歳児26人、1歳児111人、2歳児181人、3歳児300人、4歳児313人、5歳児309人。市内就業者の43・4%、1万1316人が女性。農林業を除く第二・第三次産業では8745人で43・7%。

**問** 各町のイベントは

高根と長坂の祭りが2年前から合同開催され、経費の節減が評価されている。他の町においても早急な取り組みが必要だが。市内の祭りの現状は。地域委員会の祭りについての考えは。

統一に向けての考え方は。主催の在り方は。エリア別の考えは。住民が参加・企画し実施することへの指導は。

**答** 地域性と自主性を大切に

**市長** 22年度、地域委員会予算使途提案事業費の51%、総額6405万円を、15事業の地域活性化イベントに使った。





地域委員会代表者会議でも話し合いがされている。  
相談や指導をしていく。

**問** 景観計画・まちづくり計画の策定状況と特徴は

他市と比較して大きな違いがある。特別な付加価値を生むもので、今後の市の方向性と将来を決める大変重要な条例だが。

審議会の構成メンバーは、県内の市町村の制定状況は、市の景観計画とまちづくり計画の特徴は。

土地開発条例との整合性は、住民説明会での主な意見は、審議会への市民の意見の反映は。

**答** 景観を生かし地区特性にあった土地利用を

**建設部長** これまで計画の策定に携わった大学教員、各町の委員、公募した市民、県および関係部署の市職員15人で構成。

16年に景観法が制定。景観行政団体は現在、県内13市町村。北杜市など7市町村が景観計画制定に取り組み、1村が完了した。

北杜市の美しい山岳景観を損なわぬよう、建築物や工作物の高さや色彩に、数値基準を示している。景観と一体となった、地区の特性を生かした土地利用を特徴として

いる。

一定規模以上の開発事業については、市民が関われる仕組みを現在の条例に加え、まちづくり条例に一本化した。

「市民への周知はさまざまな方法で進めるように」「屋外広告物に対する施策を」等。ホームページで公開を予定。

素案の審議をする際、意見が反映されるよう提案したい。

**問** 子どもの体力向上対策は

全国的に子どもの体力低下が問題になっている。北杜市の小学生の体力低下も心配だ。外部講師による体育指導を導入し、成果を上げていく先進例がある。情報交換し、本市への導入を検討する考えはないか。

**答** 地域全体で工夫をし推進

**教育長** 21年度は男子は、全国平均と比べ小学校3年生で上回り、小1から中3までの差も1・37ポイント。女子は小学校2、3年生で上回り、小1から中3までの差も0・86ポイントまでに縮まっている。原っぱ教育など、これからも外部人材の活用は、ボランティアも含め工夫をこらしていきたい。

**問** バイオマスタウン構想は

明政クラブはこれまで、バイオマスについては多岐にわたる視点から推進を進言してきた。市内の豊富な資源を活用し、効率の良い循環、地域ニーズに合致した構想を望むが。

対象となる事業は、どのような補助制度があるのか。具体的な事業計画は。

団地や給食センターなど効率の良い食品残渣の回収が必要だが。

**答** モデル事業を実施

**市長** 大規模電力供給用太陽光発電施設の実証研究や小水力発電など、自然資源を活用した対策を進めてきた。さらに、市が掲げる環境創造都市の実現を目指すため、バイオマスタウン構想を策定する。市内のバイオマス原料の実態を把握する。地域が一体となつての取り組みが重要である。農家や商工業者、市民団体と連携し、食品残渣や間伐材を活用した製品、エネルギー開発に取り組み。  
**産業観光部長** ソフト事業・ハード事業も含め、地域バイオマス利活用交付金がある。市町村や民間事業者も対象。

本年度、モデル事業として、増富地域や市内の旅館・飲食店の協力で、食品残渣の堆肥化に取り組んでいる。山梨大学、みずがき山ふるさと振興財団と連携し、食品残渣や木くずを利用した高度堆肥化の研究も進めている。現在、民間団体による間伐材等を利用したバイオマスエネルギーの導入が検討されている。  
今後の検討課題だ。



期待されるバイオマスタウン構想

道路整備の進捗状況は



秋山 九一  
(明政クラブ)

長坂総合運動公園  
駐車場整備は

問 ふれあい支援農道は、高根町から長坂を結ぶ道路で一部供用開始されているが、黒澤から太陽光発電施設までが未完成だ。進捗状況は。

25年度供用  
開始を目指す

産業観光部長 太陽光発電施設までの未完成区間は、中央道を横断するアーダーパスの工事に向け、中日本高速道路と山梨県で基本協定を結び、今年度中に工事着手する予定で25年度中の供用開始を目指している。また、長坂町塚川地内の未着工箇所は、25年度までの事業完了を目指し、道路線形の変更も視野に方針が決定される。



ふれあい支援農道

駐車場有効活用で  
活性化を図る

教育長 駐車場はスポーツ公園内に440台収容でき、20年からスポーツ公園向かいの土地を借地し、通常の施設利用に不便は来たしていない。

国保事業・医療費軽減の  
取り組みは



相吉 正一  
(明政クラブ)

問 医療費が増える要因は。

年齢別の医療費状況はどのような構成か。

総合健診・人間ドックの受診状況、補助年齢の引き上げは。

健診の推進と医療費  
適正化対策を進める

市長 被保険者、高額医療費、受診者の増加。診療報酬の改定等による増が考えられる。国保医療費全体で45億4000万円、うち未就学児2%、前期高齢者27%、一般被保険者71%。総合健診受診者4784人、人間ドック1329人。人間ドックは、補助対象年齢の引き上げを総合的に検討。

市内幹線広域農道等の  
進捗状況は



渡邊 陽一  
(明政クラブ)

問 広域農道白州町前沢から竹宇・横手間の全線開通の見通しは。

県道台ヶ原長坂線の花水橋の完成および長坂までの幅員の確保は。

市道花水金ノ手線は、白州小学校手前で工事が中断しているが、今後の予定は。

市道花水金ノ手線は  
供用開始

産業観光部長 用地取得の関係で工事が遅れている前沢地区の一部で、替え地の調査測量など具体的な用地交渉を進めている。建設部長 花水橋の架け替えを含め、25年度末には清泰寺入口付近まで供用開始の予定。幅員確保は、危険回避の面から



受診率県下No.1

職員の  
人事管理体制は

問 公平性ある人事評価制度導入の考えは。

出勤・退勤時間を選択できる、フレックスタイム制導入の考えはあるか。

信頼性の高い評価制  
度導入に取り組む

市長 行財政アクションプランに位置づけ、独自の評価制度構築や先進事例参考に準備を進める。フレックスタイム制は、業務の効率や健康面から弾力的に早出・遅出の時間帯の活用を検討。



早めの整備を





100年先を見据えたまちづくりを

問 小淵沢駅舎の位置・改築時期など、庁内検討委員会での協議内容は、駅舎移動は、商店街などへの影響が大きい。考  
え方や地元意見の反映は、南北自由通路は、基本構想策定事業の調査対象に含まれているか。

**事業経費等を検討**  
市長 23・24年度で設計、25年度工事着手、26年度完成予定。



野中真理子  
(市民フォーラム)

小淵沢駅舎の改築は

建設部長 市民の意見を基本構想に反映する。  
南北自由通路の建設は想定していない。

問 使用料改定に伴う、指定管理料の算定は、施設管理等のクレームや要望への対処方法は、利用者増への努力は、予約方法の改善は。

市へのクレームは

現場を確認し指導

教育長 指定管理料は年度協定で定める。

指定管理者へのクレームは、定期報告に求め、改善指導をしている。

利用者増は指定管理者の収入で、企業努力。市も広報やHPで周知。

予約は規則上3日前までだが、住民サービスを考慮し、今後検討。



中村 隆一  
(日本共産党)

中小業者仕事起こしと制度創設を

問 中小業者の仕事確保につながる「住みリフォーム助成制度」の創設を求める。

各種助成制度を  
実施している

建設部長 市は、耐震改修支援事業等の助成制度を行っており、新たな制度創設は考えていない。

小麦栽培・防護柵

設置農家の支援策を

問 農業振興のため小麦栽培農家への支援を。鳥獣害対策で防護柵設置農家への助成を求める。

麦・大豆は重点作物

産業観光部長 市では価格格差の実施と麦の生産奨励を行っている。簡易電気柵の設置に資



実りの秋

材費の50%を助成、地域と協働連携し、被害防止対策に努める。

米軍機の低空飛行

中止は

問 目撃される米軍機の最低安全高度違反の疑いがある。外務省・防衛省に抗議と中止を要請する。

低空飛行調査の  
依頼をした

総務部長 市は山梨県に連絡し、県でも国に所属や飛行目的の照会など調査を依頼した。



風間 利子  
(無党派)

武川総合プラザ建設は

問 地元との合同会議で、武川総合支所を保健センターに移す案が示されたが、総合プラザ建設を望む意見が多かったが。

複合施設として  
前向きに検討

市長 武川保健センターの活用にご理解をいただいたが、総合プラザ建設の要望もいただいた。新たな公共施設建設は市民コンセンサスも考慮し、複合施設として今後も前向きに検討したい。

事業仕分けの  
取り組みは

問 無駄な費用や事業をなくす事業仕分けより、市民目線での仕分けに意義がある。市財政は厳しいが、市民目線の行政を



武川支所が入る保健センター

新学習指導要領の  
実施にあたり



中山 宏樹  
(北杜クラブ)

問 ゆとり教育から学力重視への、新学習指導要領が来年度から始まる。新学習指導要領でどう変わるか。

原っぱ教育の推進、学校・家庭・地域のかかわり、地域指導者の育成は、教育サポーターの登録と、授業サポーター体制は、学校関係者評価、区内の先生の交流は、武道の設備・用具・指導者は、格技は。

原っぱ教育とも連携

教育長 週当たり授業時間は小学校で1〜2時間、6年間で278時間増加、中学校は一律1時間、3年間で105時間増加する。

原っぱ教育は総合学習や特別授業に限らず実施



地域で行われた木工教室

地域全体で子どもを育む環境づくりが強調され、学校・家庭・地域一体で教育推進に取り組む。学校ごとに地域人材活用リストを作成、市内広域で人材活用を検討していく。

半数以上の学校で関係者評価を実施、利点を感じている。教職員の交流も、中一ギャップ対策・不登校防止に寄与していると考え一層推進したい。中学校は柔道を選択、教師講習会や設備・用具の整備を進めている。

地域委員会の活動と  
市政推進は



中嶋 新  
(北杜クラブ)

問 4月からは支所の簡略化、教育・上下水道のセンター化も進み、統一した政策を推進する時期だが。

地域委員会の活動と予算の考え方は、ふるさと祭り等、イベントの見直しは、地域独自の事業を推進する取り組みは。

意見交換で  
事業を見直す

市長 年3〜6回の委員会協議の他、年4回の市政報告会で市政を確認し、地域の声を行政に反映する活動を行っており、予算は、年度ごと範囲内で均等・人口・面積割で配分。平等性に努める。高根・長坂の合同開催「北杜ふるさと祭り」を

先行事例に、複数の地域委員会での検討委員会で見直しに取り組んでいる。地域を生かすイベント、伝統文化の伝承事業を実施しており、地域委員会連絡協議会で意見交換を行い見直す。



地域のための話し合い

県下の市議一堂に

8月11日、南アルプス市桃源文化会館で、山梨県市議会議長会議員合同研修会が開催され、県内13市の市議会議員が多数出席しました。

研修会では「議会人の危機管理術」をテーマに、市町村アカデミー客員教授の大塚康男先生の講演が行われました。



みんな真剣

# 声のひろば

## koe no hiroba



けっこうなお点前です

### 小淵沢駅舎改築を



萩野恵美子  
小淵沢町

ここ小淵沢では、あつとい  
う間に野山の色も変わり、過  
ごしやすい季節となりました。  
今年の夏は猛暑のおかげか  
小淵沢駅で降りる人、乗り換  
えでホームにいる人等も、い  
つもの年より多かつたよう  
な気がします。

小淵沢駅は、特急の止まる  
駅で、県内では甲府駅に次ぐ  
駅です。北杜市の北の玄関口  
として非常に重要だと思いま  
す。

高齢化社会を迎え、お年寄  
りは階段の昇り降りが困難で、  
電車の利用が大変不便になっ  
ています。エレベーターやエ  
スカレーターを設置し、安心  
して外出できる環境にしてほ  
しいと思います。

また、駅前広場も非常に狭  
く、特急の発着時間には、送  
迎の車で大変混雑しますので  
併せて整備を希望します。

### 余生を生きる



二塚 房子  
武川町

後期高齢者のわたし共夫婦  
は、あらためて余生を生きる  
心構えを少し考えてみたい。  
今、わたし共は社会福祉の種々  
の恩恵を受け、少し離れて住  
む息子夫婦の助けも借りて二  
人で暮らしている。すでに主  
人は、往年の足の酷使のゆえ  
か歩行困難となり、加えて記  
憶力もだんだんと薄れて、私  
の支えがなくては過ごせなく  
なっている。私も年齢相応の  
衰えは否めないが、主人を支  
えるべく頑張っている。

いづれか二人とも、全面的  
に家族や社会的サービスにも  
お願いしなければならぬ時  
が来るはず。その時はお世話  
になると思います。

北杜市も高齢化が進み大変  
だとは思いますが、年寄りが  
安心して暮らせる行政をお願  
いいたします。

### 自然の恵みに 感謝して



齊藤昭夫  
大泉町

都会に住む孫娘に、八ヶ岳  
の土産に何が欲しいと尋ねる  
と「水」と答える。「なぜ」と  
問うと「冷たくて美味しい  
から」と言う。我々が、「泉  
さん」と敬虔な気持ちで昔か  
ら大事にしてきた湧水だから  
である。

本市は市内全体が四季に富  
み、自然豊かでわたしたちの  
日常生活に、潤いと楽しみを  
与えてくれる。エコといわれ  
自然と共生する日々を送るた  
めに、化学製品も有効に利用  
しながら、特に水は大事にし  
ていきたい。人間、孤立は大  
いに結構だが、孤独にならな  
いために何事もパソコンや携  
帯電話等の情報により画一さ  
れることなく、安価・安全・  
安心して飲める水の供給等が  
オリジナリティーな行政に望  
まれる。  
特に、民意が反映される行  
政のチェック&アドバイザー  
の精神が、議会に求められる  
のではないだろうか。

### 伝えよう豊かな心 豊かな自然



早川千秋  
須玉町

主人の実家である北杜市に  
越してから、3年目になりま  
す。慣れないわたしに、ゴミ  
出しの場所から教えてくれた  
ご近所の方をはじめ、地域の  
皆さんがよくしてくださり、  
人の温かさをこれほど感じた  
ことはありません。「初めて  
会った気がしない」とある婦  
人が言ってくくださった言葉は  
私の心にいつまでも残ってい  
ます。

第二の故郷、北杜市は瑞牆  
山、甲斐駒ヶ岳等豊かな自然  
に囲まれており、24景の素晴  
らしい景観があります。これ  
らは北杜市だけでなく、関東  
近県からくる観光の名所とも  
なっています。

この豊かな自然を次の世代  
に伝えるため、景観の保護を  
行って欲しいと切望してやみ  
ません。  
大好きな北杜市の発展を心  
から祈っております。

# 北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING

## ちびっこのーラン



(写真提供：なかじま写真 中嶋 一)



大活躍だった  
緑のカーテン

## 夢パルーン



## カントナリHR ～ポニー・ナントラ～



## 編集後記

猛暑、酷暑、酷暑という言葉でも表せないくらい暑い夏になりました。人や生態系にも大きな影響があり、熱中症や風水害、農作物の暑さによる被害もたくさんありましたが、ようやく秋が来たようです。

9月は、21年度決算議会でした。まだまだ、厳しい財政状況のなかですが、市債の減少、財政調整基金の取り崩しも回避されて、財政健全化に向けての取り組みが功を奏してきたようです。

北杜市も合併して6年目になります。市の目指す方向性や将来像をしっかりと見据え、私たちも努力していきたいと思っています。

議会だよりも、レイアウトやカラーに工夫を重ねてきましたが、現在の編集委員での発行は今回が最後になります。これからも、皆さまのご意見ご感想を参考に、より良い紙面づくりに力を注いでまいりたいと考えております。今後ともよろしく願いたします。

議会広報編集委員会

委員長 保坂多枝子

副委員長 中嶋 新 小須田 稔

委員 小尾 直知 千野 秀一

坂本 静 風間 利子

野中真理子 清水 進